

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして  
**福祉避難所・高齢者施設等に「アイ・ドラゴン4」を設置してください**  
**障害者差別解消法 == 事業者も合理的配慮の提供が義務化されました ==**

「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする**情報アクセシビリティ対応機器**です。障害者放送通信機構は、全国の都道府県・市町村に対して福祉避難所で「アイ・ドラゴン4」を活用した「防災体験会」を定期的に開いていただくよう要望しています。

全国の福祉避難所は 25,356 箇所（令和5年内閣府調査）ありますが、いま、設置されている「アイ・ドラゴン4」は250 台です。引き続き、ご当地の市町村に、聴覚障害者災害救援中央本部・貴協会・障害者放送通信機構連名の要望書を提出してください。

**「アイ・ドラゴン4」の機能**

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る  
（全国の聴覚障害者情報提供施設と協力）
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る  
（情報通信研究機構(NICT)助成事業）
- 2,500本超**の手話番組アーカイブを  
24 時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています

聴覚障害者用情報受信装置  
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

各地の団体様で「目で聴くテレビを見る会」や説明会を開いたり、機関紙で「アイ・ドラゴン4」のPRをするなど、より広く多くの方に「アイ・ドラゴン4」と「目で聴くテレビ」を知っていただく活動に注力いただいています。ぜひ地元機関紙やイベントなどで「目で聴くテレビ」と「アイ・ドラゴン4」をご紹介ください。

●●● 2025 年(令和 7 年)5 月 1 日発行 第 454 号「福井ろう苑」より抜粋 ●●●

**敦賀市聴覚障がい者福祉協会だより～重田千輝氏講演会を開催しました～**

4月6日(日)敦賀市聴覚障がい者福祉協会の主催で、重田千輝氏をお招きして、講演会を開催しました。県内外から 47 名の参加がありました。重田講師が福井県を訪れたのは 3 回目です。演題は『取材を通して見たろう者の生活』で「目で聴くテレビ」が始まったきっかけは、1995 年の阪神淡路大震災でした。当時は字幕のついたテレビ番組が非常に少なく、ろう者の情報格差に対処しようと、字幕や手話通訳を付与した番組放送を開始したそうです。

重田講師は「目で聴くテレビ」の手話キャスターで、全国各地でインタビューをし、そこで聞いた内容を発信しています。去年の能登半島地震の際には、すぐに能登に行き、被害を受けた施設の様子を撮影したり、被災したろう者にインタビューをしました。被災し情報を得られないろう者からの「避難所は刑務所だ」という悲痛な叫びを聞いて驚き、考えさせられたそうです。続いて……

**【参加者の声】**

◆敦賀で重田講師の話を聞けて良い経験になりました。避難所でろう者から“避難所は刑務所だ”と言われたというお話を聞きショックを受けました。情報の重要性を再認識する機会となりました。(女性)

◆重田さんが 4 歳の時阪神淡路大震災に遭遇、情報の入手が困難で、家族も避難が難しかったということを知ることができました。(男性)

(写真は「福井ろう苑」の記事ではなく、「目で聴くテレビ」が能登半島地震で被災された方をインタビューした当時の写真です)

